



## ウガンダに橋をかけよう！プロジェクト 「SEISA Africa Asia Bridge」が完成しました！



これまでのFGCニュースでもご報告を続けておりました、ウガンダ北部オモロ県にあるKOMOREBI 小学校の通学路にかける橋がついに完成しました。昨年スタートしたこのプロジェクトは、皆様のご支援のおかげでクラウドファンディングの目標金額を達成し、今年4月末から橋の建設がはじまりました。

現地での工事は雨との戦いでしたが、建設会社と村のみなさんの協力のおかげで、ついに橋が完成しました！こどもたちは今後、どんなに雨が降っても、安全に学校に通えるようになりました。

この橋は、アフリカとアジアの架け橋となることを願った世界こども財団の創設者・宮澤保夫前理事長と、星槎グループのこれまでの取り組みの象徴となることを願って、「SEISA Africa Asia Bridge」と名付けられました。今号では、この「ウガンダに橋をかけよう！プロジェクト」についての背景や、プロジェクト立ち上げ、橋の建設について特集いたします。





## KOMOREBI小学校について

KOMOREBI 小学校があるウガンダ北部オモロ県は、かつて反政府武装勢力による被害に苦しんだ地域です。多くの方が犠牲になったこの地で、人々は平和と発展のために努力し、子どもたちに明るい未来を与えたいと願っています。

KOMOREBI 小学校は日本の NPO 法人五条クラブとウガンダの人々が協力して建設した学校で、ウガンダの教育と日本文化の融合からアイデアの創造と人材育成を目指しています。子どもたちは日本の挨拶や清掃、手洗いの習慣や、日本文化を学んでいます。また、サッカークラブを設立して、スポーツの力で子どもたちの成長を促しています。村に新しい学校ができたことは、彼らにとって大きな希望の光となりました。



## KOMOREBI小学校の課題とプロジェクトの始まり

現地の人びとの大きな希望の光となった KOMOREBI 小学校ですが、小学校には通学路の問題という大きな課題がありました。

オモロは雨季と乾季の気候の変化が激しく、雨季には川が増水して道が冠水します。そのため、子どもたちは通学路を通れず、学校に行けなくなっていました。橋は、子どもたちの安全と学校の発展にとって、欠かせないものでした。

私たちはこの状況について、KOMOREBI 小学校を創設した NPO 法人五条クラブの皆さまから伺い、オモロの子どもたちに安全な環境を届けたいと、五条クラブそして駐日ウガンダ共和国大使館のみなさんと協議しこのプロジェクトに参加することを決めました。



### ウガンダ共和国について

- ・ 標高：1200m
- ・ 平均気温：23℃ 一年は雨季（10月～12月と3月～5月）と乾季に分かれている。
- ・ 国の大きさ：日本の本州とほぼ同じサイズ
- ・ 人口：約4千4百万人

ウガンダは、アフリカ大陸の東側にある赤道直下の国です。別名「アフリカの真珠」と呼ばれるほど美しく自然あふれる国です。一方で、乳幼児死亡率の高さ、母子の健康不良、女の子の早すぎる妊娠の増加、水や衛生設備の不足、また教育においては初等教育の修了率の低さなど多くの課題も抱えています。

### オモロ県について

首都カンパラから北へ約350km、車で6～7時間の位置にある、とてものどかな農村といった印象の地域ですが、過去約20年にわたって紛争に苦しんできた歴史もあります。

# プロジェクトの立ち上げと進行

私たちは、KOMOREBI 小学校の支援のため、寄付を募ることにしました。

## 2023年11月11日 プロジェクト立ち上げ・クラウドファンディングと支援の呼びかけ

第9回 SEISA Africa Asia Bridge (SAAB) でこの「ウガンダに橋をかけよう! プロジェクト」を発表し、同時にクラウドファンディングを立ち上げました。また、SAAB だけでなく、星槎グループ内外の様々なイベントに参加し、この取り組みへのご支援を呼びかけました。クラウドファンディングは、多くの方々のご協力で、2023年12月31日までの期間内に、目標としていた500万円を達成することができました。



## 2023年12月 現地視察

私たちはウガンダの地を訪れ、KOMOREBI 小学校や橋の建設予定地の視察を行いました。雨季になると冠水してしまう通学路は、土地がくぼんで湿地帯となっており、12月の乾季でも歩いてみると膝のあたりまで足が沼地にはまってしまうような場所でした。「橋」の必要性を再認識するとともに、実際にKOMOREBI 小学校の子どもたちの笑顔に出会えたことが、活動を続けていく上で大きな原動力となりました。ウガンダ滞在中には、KOMOREBI 小学校支援のため、現地オモロ県行政の最高責任者と NPO 法人五条クラブ、そして世界子ども財団の三者による包括連携協定も締結しました。



## 2024年4月 橋の建設スタート

さまざまな調整を経て、橋の建設がはじまりました。しかしすでに雨季に入っていた現地での工事は困難なものとなりました。安全を配慮しつつカルバートと呼ばれる巨大な排水管を地中に埋め込み、溜まった水や泥を逃しながら、現地の方々の懸命な作業が続きました。



# 「SEISA Africa Asia Bridge」の完成!



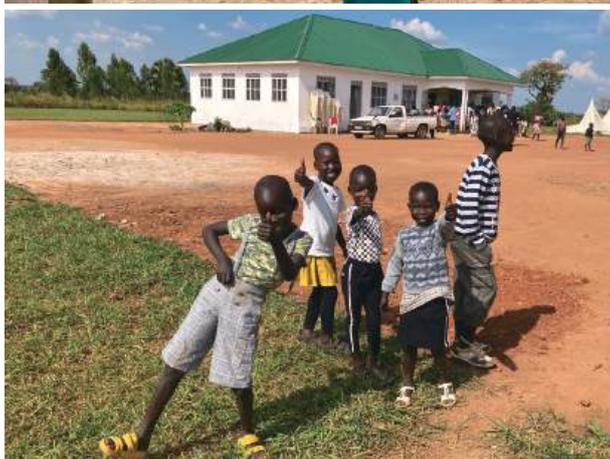
2024年7月、ついに橋が完成しました。KOMOREBI 小学校の子どもたちは、毎日安全にそして安心して学校に通っています。

現在は橋のそばに設置する記念碑の準備を進めています。この石碑には、「SEISA Africa Asia Bridge」の建設にご協力いただいた皆様のお名前を刻みます。今後は、橋の建設だけにとどまらず、学校の教室の増設や、継続的な交流を目指して活動していきます。

# 心より御礼申し上げます

このプロジェクトにご協力いただいた NPO 法人五条クラブ、駐日ウガンダ共和国大使館、オモロ県、KOMOREBI 小学校、ボランティアの皆様、そして、クラウドファンディングを通してご支援をいただいた全ての皆様に、心より御礼申し上げます。

私たちは今後も、教室等の環境整備など、KOMOREBI 小学校への支援と交流を続けていきます。いつかこの「橋」を渡って KOMOREBI 小学校に通った子どもたちが成長し、留学生として星様で学んでくれる、そんな日を目指して、活動してまいります。みなさま、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



世界の子どもたちの未来づくりのために ご支援をよろしくお願いいたします

事務局より

世界子ども財団では、私たちと一緒に世界の子どもたちに手を差し伸べる「仲間」を募っております。昨年度は 441 名の個人会員、90 社・団体の法人会員・協力企業のみなさまに支えられ、活動を行ってまいりました。

子どもたちの未来をつくる活動に、ぜひご参加ください。

## ● 賛助会員

個人会員 年会費 6,000 円 / 一口

法人会員 年会費 120,000 円 / 一口

## ● ご寄付

金額を問わず、随時受け付けております。

## ● 寄付型自動販売機設置のお願い

現在、世界子ども財団では各飲料メーカーと提携し、「寄付型自動販売機」を積極的に展開しています。購入頂いた飲み物の売上げの一部が当財団に寄付される仕組みとなっており、子どもたちの未来へと繋がっています。

自動販売機の設置費用や管理運営等はございません。少しでも興味のある方、設置しても良いという方、是非ともご連絡をお待ちしております。

詳しくは、世界子ども財団のホームページ、またはお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。



2024 年 12 月発行

公益財団法人  
世界子ども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星様グループ内)  
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp  
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界子ども財団」で検索!  
制作: 岡村直実 (JC ユニット)

